

原城路の熱走

第19回原城マラソン大会

2月22日(日)、原城跡周辺を主会場に南島原市原城マラソン大会が行われ、市内外から参加した約1,200人のランナーが、春の原城路を駆け抜けました。

当日は、雨が降るなどコースの状態は万全ではありませんでしたが、沿道には多くの応援者が駆け付け、ゴールを目指すランナーたちを励ました。また、坂下一郎町長を団長に姉妹町の小豆島町の選手団もファミリーの部に参加。春の原城路と市民との交流を存分に楽しみました。

この大会は、リピーターが多いことも特徴で、「沿道の声援やボランティアの人の対応が好きていつも参加している。手作り感がいいね」とコメントをいただくと、市民皆さんによる「ボランティア」のおかげで、今年も、多くのランナーに「楽しい思い出」を持ち帰りいただけたようです。

原城マラソン大会市内入賞者

- ※○数字は順位
- 2 km 小学男子 4年 ①岩永 昂樹 ③中村 吉広
 - 2 km 小学男子 5年 ②本多 優鷹
 - 2 km 小学男子 6年 ②土手野 佑聡 ③坪井 珠和
 - 2 km 小学女子 4年 ③松田 珠怜 ③池田 花子
 - 2 km 小学女子 6年 ①松山 龍二 ③土手野 和広
 - 2.5 km ファミリー ①木下 大樹 ②安達 純子
 - 3 km 中学男子 ①植木 那菜 ②林田 琴美
 - 3 km 中学女子 ①木下 大樹 ②安達 純子
 - 3 km 高校女子 ①植木 那菜 ②林田 琴美
 - 3 km 男子 40歳～59歳 ②安達 純子
 - 3 km 女子 40歳～59歳 ②安達 純子
 - 5 km 高校男子 ①中村 烈太 ②園田 真太郎
 - 5 km 男子 19歳～29歳 ①松尾 大作 ②中村 哲哉
 - 5 km 男子 30歳～39歳 ③宮崎 一 ①竹村 公文 ②永友 池田
 - 5 km 男子 40歳～59歳 ①松尾 幹子 ②大橋 加春
 - 5 km 女子 19歳～39歳 ①水田 順平 ②大橋 加春
 - 10 km 高校男子 ①松尾 幹子 ②大橋 加春
 - 10 km 男子 19歳～29歳 ①松尾 幹子 ②大橋 加春
 - 10 km 男子 30歳～39歳 ①松尾 幹子 ②大橋 加春

第3回南島原綱引き大会

2月8日(日)、第3回南島原市綱引き大会が、南島原市深江体育館で行われました。今回は小学生の部が3チーム増の23チーム、一般男女混合の部が6チーム、一般の部が12チーム参加するなど、南島原市原城マラソン大会、南島原市口加駅伝大会と並び、冬のスポーツ大会の目玉になっています。

当日は天候にも恵まれ、春を思わせる陽気の下、参加者は気持ち一つにして、一生懸命に綱を引きました。



第8回セミナリヨ版画展

2月21日(土)から3月1日(日)まで、第8回セミナリヨ版画展が、ありえコレジヨホールで行われました。

これは、約400年前、日本人の手によって日本で最初に制作された銅版画「セビリヤの聖母」が有家町で作成されたことを記念し、旧有家町で企画。現在まで続いているものです。九州一円から出品された4462点のうち、入賞、入選した605点が同ホールいっぱい展示。来場者を楽しませました。

表彰式では、セミナリヨ大賞などそれぞれの賞が表彰されたあと、審査員長の渡辺千尋先生からの講評がありました。先生は、「表現するということはドラマ。今回は、作品のドラマ性に心打たれる作品が多くありました」と総評。式典終了後、渡辺先生に市民の皆さんにメッセージをお願いしたところ「版画は、決して難しいことではありません。創ることは楽しいこと。まずは楽しくつくることが始めてください」と笑顔でおっしゃいました。



審査員長の渡辺千尋先生。力の入った講評にみんな聞き入りました。

セミナリヨ大賞受賞の皆さん。左から岸川優子さん、崎瀬茜さん、入江真里さん



世界に向けての第一歩

日本ジオパーク認定書交付

2月20日(金)に日本ジオパークに認定された7地域(洞爺湖有珠山、アポイ岳、南アルプス、糸魚川、山陰海岸、室戸、島原半島)に対して、「認定証」が授与されました。認定証は、島原半島ジオパーク推進連絡協議会と構成する島原半島3市(南島原市、島原市、雲仙市)にそれぞれ交付されました。

2月23日(月)には、南島原市、島原市、雲仙市の3市長が報告記者会見を開き、授与された認定証を披露。今後のジオパークの取り組みについて島原半島3市が連携していくことを確認し、固い握手を交わしました。



喜びを胸に世界ジオパークを目指します。

有馬ひょうたん展

2月21日(土)、22日(日)の両日、有馬ひょうたん展が、北有馬ピロティ文化センター日野江で行われました。これは、北有馬のひょうたんの愛好者グループ、有馬愛瓢会が行ったもので、本年度11回目。当日は、大小色とりどりの500個のひょうたんが、所狭しと並べられ、来場者を楽しませました。



美しさだけでなく、縁起物としても人気です。

ワカメのしゃぶしゃぶに舌鼓

ワカメ作業体験学習

2月27日(金)、島原半島南部漁業協同組合南有馬支所前で、南有馬小学校の6年生が、南島原市の特産品のワカメについて、選別や湯がきなどの体験学習を行いました。これは、同漁業協同組合の協力で実現したもので、今回が初めて。ひととおり指導を受けた児童は、葉茎と株を楽しみながら選別し、その後、新鮮なワカメを熱湯に5秒ほどくぐらせてしゅうゆなどで食べる「ワカメのしゃぶしゃぶ」を児童は堪能。その後の給食でも「ワカメの酢の物」を食べるなど、児童たちにとって、ワカメ三昧のぜいたくな一日となりました。



楽しそうにワカメの株を分ける児童たち



南島原市青年団連絡協議会が発足

3月5日(木)、原城オアシスセンターで南島原市青年団連絡協議会設立総会が行われ、南島原市青年団連絡協議会が発足しました。

これは、市内の青年組織の連絡・協調などを目的に発足したもので、初代の会長には過去に県青連の会長を務めたこともある北有馬町の飛永良作さんが選任されました。飛永さんは、「市が活力を取り戻せるような組織を目指します」とコメント。今後の活躍が期待されます。

北有馬ふれあい交流広場 桜の木植樹



平成20年度から施行された南島原市協働のまちづくり事業補助金の第1号として、北有馬ふれあい交流広場に桜の木の植樹が行われました。

これは、北有馬町の市民活動団体グループ、山西クラブが行ったもので、会員の野田さんの発案で実現。「多くの人を訪れるこの広場に木陰が少しでも増えるといいと思って」と笑う野田さんの額には汗がキラリ。これからも「協働」の輪が広がっていくといいですね。

100歳おめでとうございます いつまでもお元気で



石田ミサヤさん(布津町) 明治42年2月29日生まれ